

第1章 計画の策定にあたって

1. 策定の経緯

平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年法律第154号）（以下、「法」という。）が公布・施行されました。この法律は、「子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的」としています。この法の施行後、国や自治体においては子どもの読書活動の推進に関する計画が策定され、子どもの読書活動の重要性についての啓発や読書推進事業、また読書環境の整備などさまざまな事業が進められています。

本市においても平成24年度から4ヵ年を計画年度として「筑紫野市子どもの読書活動推進計画～読んですくすくつくしんぼプラン～」（以下、「第一次計画」という。）が平成24年2月に制定されました。この計画においては、本市の子どもの読書の推進に関する事業を網羅するとともに、新たに取り組むべき施策を明示しました。

第一次計画が平成27年度をもって終了することから、「第二次筑紫野市子どもの読書活動推進計画」を策定し、引き続き子どもの読書活動の推進に努めるものです。

2. 策定の背景

国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」の冒頭には、「子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであり、社会全体で積極的にそのための環境の整備を推進していくことは極めて重要である」とされています。

さらに、法の公布前、平成11年8月22日の「文化審議会国語分科会国語教育等小委員会の意見のまとめ」では、（1）国語力の向上を目指す理由として、文中「近年の日本社会に見られる人心や政治・経済などの荒廃が、高次の情緒力の欠如に起因する部分が大いと考えられることも問題である。高次の情緒力とは、例えば、他人の痛みを自分の痛みとして感じる心、美的感受性、もののあわれ、懐かしさ、家族愛、郷土愛、祖国愛（日本の文化、伝統、自然を愛する心）、名誉や恥といった高次の情緒を解する力である。これは自然に身に付くものではなく、国語教育で教えるべきものである。国語教育の本当の重要性は、この高次の情緒力を身に付けさせ、それによって確かな教養や大局観を育成することにある。そのためには、高次の情緒力の形成に欠くことのできない読書が大切であり、『自ら本に手を伸ばす子供を育てる国語教育』が必要である」とされ、次世代を担う本市の子ども達の情緒力を育成する点も欠くことができません。

3. 第一次計画策定以降の国・県の動向

国においては、平成25年5月17日に法に基づき、「第三次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が閣議決定されました。この計画では、「依然として、学校段階が進むにつれて子どもの読書離れが顕著になる傾向は改善されていないこと、町村では市町村推進計画の策定率が低く地域によって大きな差が見られること等」の課題を踏まえ、「今後おおむね5年間にわたる施策の基本的方針と具体的な方策を明らかにするもの」となっています。

福岡県においては、平成22年3月に福岡県子ども読書推進計画（改訂版）が策定され、平成23年度から25年度まで県内の市町村と連携し「小学生読書リーダー養成講座」が開催されました。ま

た平成27年度からは「子どもの読書活動充実事業」が実施されています。

本市においては、第一次計画策定後、読書活動のスタート年齢としての乳幼児期における読み聞かせがその後の読書活動に大きな影響を与えることや、そのためには保護者の関与が不可欠であるということから、乳幼児の保護者を対象とした啓発活動を中心に事業を実施しました。また、平成25年に福岡県の事業として行った「小学生読書リーダー養成講座」を、平成26年度以降、市の事業として実施しています。

4. 計画の理念

読書活動は人生を通して必要なものです。読書によって身につけられる高次の情緒力、さらに教養や大局観を通じて生まれる話し合う力等は、これからの社会にとってますます重要になってきます。特に、感じる力や想像する力、考える力が大きく育つ子どもの時期の読書活動は、その後の人生における読書活動を大きく左右します。

また、読書活動によって個性が伸び、感受性が豊かになります。個性や感受性と共に、「ふるさとちくしの」への愛着を育んでいくことで、これから地域を担っていく次世代の育成を図ることができます。自然や文化豊かな筑紫野市は、読書を身につけるうえで良い環境にあるといえます。より一層子どもたちの読書を推進するために、子どもたちがあらゆる機会、あらゆる場所において読書活動を行うことができる環境を積極的に整えます。